

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和元年9月26日
タイトル	蓮池幹線用水路で自然体験！2019
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和元年7月13日（土）福山市立西深津小学校で「蓮池川自然体験」が開催されました。

福山市立西深津小学校のある西深津学区では、西深津学区まちづくり推進委員会が主催で毎月「子ども土曜クラブ」を実施しておられ、子ども達が学区内にある蔵王山や校舎の目の前を流れている蓮池川（水土里ネット福山が管理する蓮池幹線用水路）という故郷の自然とふれあうことや地域住民と交流することで自然や地域に興味を持つよう取組みをしておられます。「蓮池川自然体験」として蓮池川へ船を浮かべて子ども達が乗船体験をし、その後西深津小学校の理科室で環境学習をしました。

朝8時より蓮池川の乗船体験です。安全を確保するため子ども達にライフジャケットを着用させ、乗船前には「急に立ち上がったたり覗き込むと転落するので注意しましょう。」と話をされました。

船には、町内会の方や保護者が船頭として乗船し、子ども5、6人と保護者が一緒に乗りました。子ども達は興味深々で船に乗ってオールを漕いだり、川面から見える景色を楽しみました。水位は大人の腰より少し下のあたりで、長いオールで川底を突くことができ、子どもが突いて「わあ、底が固い！」と喜んでいました。橋の下を潜る時は頭を低くして通過し橋の裏側を間近で見ることができ貴重な体験です。船に乗ることで水面が近くなり水中の生き物や水草に小さな花が咲いていることなど、普段では見られない物を見ることができました。

参加者から「オールを漕ぐのが難しかった。」「水が濁っていて汚かった。」「水草が多かった。」など感想を聞くことができました。



お父さん、お母さんと一緒に笑顔いっぱい！



ゆったりした川の流れを楽しみました！

10時から西深津小学校の理科教室で環境学習をしました。1つのテーブルに大人と子どもと一緒に7、8人座りました。

福山市の環境啓発課より水質検査（パックテスト）をされました。パックテストは蓮池川の水とその水に牛乳を1、2滴入れたもの用意されました。ほんの1滴でも水質検査の結果は「よごれている」となり、川に飲物などをそのままを捨てたらお風呂何杯の水で薄めなければきれいにならないと話されました。

子ども達は、船上体験で間近に見た蓮池川の水は汚れているように見えたのに実験をしてみると以外ときれいな水であることが分かりびっくりしていました。

ジュースや食料油などを捨てると水質が悪化し、きれいにするために大量の水が必要となるので捨てないよう工夫する必要があることが分かりました。

続いて、水土里ネット福山から「農業用水」についてとそこに生息する「スイゲンゼニタナゴ」について出前授業をしました。

「蓮池川」として地域で親しんでいる川は人工的に造られた農業用水路であり、遠く離れたところから取水し市街地のほとんどに配水していることや福山城築城と同時に造られた水路を400年たった今も一部を農業用水として使われていることを話しました。

このような農業用水路が日本全国にあり延長が地球10周分にもなることを話し、全国水土里ネット発行の「新・田舎人100号」で掲載されていた「19世紀、ヨーロッパでは一人養うのに15haの農地が必要だったが日本では江戸時代すでに同じ面積で15人を養っており、これを可能にしたのが地球10周にもなる農業用水路の延長であり、人類の偉業である」という記事を読みました。

また絶滅危惧種の「スイゲンゼニタナゴ」など多くの水生生物が「蓮池川」及びその周辺に生息しており、保全のために行っている活動を説明し、福山市環境保全課よりスイゲンゼニタナゴの映像を流しました。蓮池川で泳ぐスイゲンゼニタナゴを想像しながら、子ども達と完成すると農業用水路にスイゲンゼニタナゴが泳ぐ様子になるペーパークラフトを製作しました。

子ども達は、クレヨンや色鉛筆で「こんな魚がいたらいいな。」とカラフルな色にしたり、写真を見ながら忠実にスイゲンゼニタナゴを再現していました。組立ても保護者の方に聞きながら一生懸命組立てました。



「ペーパークラフトがすごくよかった!」「こんなに身近にこんな施設があるのを知らなかった。今度から気をつけて見よう。」「この建物おじいちゃんの家近くにあるから知ってる!こんな役割してたのか。」「蓮池川がスイゲンゼニタナゴでいっぱいになるといいな!」などいろんな意見をお聞きしました。

子ども達が製作したペーパークラフトを喜んで持って帰ってくれました。

最後に水路への転落防止を呼びかけ、福山市上下水道局から提供いただいた「福山の水」をひとり一人に手渡しで配布しました。

農業用水の管理に関わる水土里ネットとして水質保全を含めたかんがい用水の安定確保に向けて地域住民との共生を図ってまいり、子ども達をはじめ、地域住民の方にも広く農業用水の役割や施設の管理の重要性を理解していただくよう21世紀土地改良区創造運動に取り組んでいきたいと思ひます。